

## 米国特許出願における審査の効率化及び品質向上のための USPTO による提案事項

2013年02月04日

特許業務法人

**HARAKENZO**  
**WORLD PATENT & TRADEMARK**

(旧称：特許業務法人原謙三国際特許事務所)

### 1. はじめに

Kappos 氏は、2009 年に USPTO の長官に就任しましたが、この際、適切な範囲をクレーム発明を有する有効な特許をタイムリーに発行することを主眼に据え、そのためには、出願審査の効率化と審査の品質向上を実現すると共に出願審査に要する期間を短縮することが重要事項であると位置づけました。

上記の課題を解決するためには、審査官の増員や経験豊富な審査官の定着率を上げる（経験年数 3 年未満の審査官が全体の約 90%）ことが有効であることに鑑み、審査官の待遇改善のための措置が講じられています。

また、上記課題を解決するために、各種の試行プログラムが提案・実施されてきました。具体的には、次のようなプログラムが実施され、ある程度の成果をもたらしています。

- ・ Pre-Appeal Brief Conference Program
- ・ Enhanced First Action Interview Pilot Program
- ・ After Final Consideration Pilot Program (AFCP)
- ・ Enhanced First Action Interview Pilot Program

しかしながら、上記の各種プログラムの実施だけでは不十分であるので、上記課題を根本的に解決するために、USPTO は、2013 年 1 月 15 日に、上記の各種プログラムと並行して、出願明細書とクレームを所定の様式で記載することを提案し、その提案事項に対する関係者からのパブリックコメントを募集しています（募集期限：2013 年 3 月 15 日）。\*1

**【全 3 頁】**

\*1 Federal Register / Vol. 78, No. 10 / Tuesday, January 15, 2013 / Notices 参照

本件記事に関し、後続するさらなる詳細情報の知得をご希望されるお客様は、下記の担当者までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。  
ご不明点・ご質問等がございましたら、遠慮なくお問い合わせ下さい。

【 連絡先 】 特許業務法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK

外国専門部長 : 新井 孝政 (大阪本部在籍)  
外国専門部長代理 : 岡部 泰隆 (大阪本部在籍)  
TEL : 06 - 6351 - 4384 (代表)  
E-Mail : [iplaw-osk@harakenzo.com](mailto:iplaw-osk@harakenzo.com)

【無断複製・転載禁止】

当サイトの掲載物は著作権法で保護されています。無断複製や転載は固くお断りいたします。  
特許業務法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK, All rights reserved.